

2022年2月28日

各位

三井住友信託銀行株式会社

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について
(平和不動産株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、平和不動産株式会社(代表取締役社長:土本 清幸、以下「平和不動産」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(以下「LMA」(※1))等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の経営戦略に規定されているサステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」)」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPT(s)」)」を設定し、貸付条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連動させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

平和不動産は、中期経営計画「Challenge & Progress」において、街づくりに貢献する会社として、日本橋兜町・茅場町の再活性化、札幌再開発事業、アセットマネジメント等に取り組み、環境・防災力に配慮した安心・安全な街づくりを推進し、サステナブルな社会の実現に貢献することを目指しています。

そのため、重要施策として「サステナビリティ経営の実践」を設定し、環境、社会、ガバナンスそれぞれについて、具体的な取り組み・KPI を掲げ、企業活動を通じて社会課題の解決、SDGs への貢献に取り組む姿勢を示しています。

また、平和不動産はサステナビリティ経営を実践するうえで、気候変動への対策を重要課題(マテリアリティ)として認識し、脱炭素社会の実現に向け、2030 年度までに温室効果ガス(GHG)排出量を 50%削減(2018 年度比)する目標を掲げています。

本件は、以下の KPI と SPT を設定しており、当社は本件融資を通じて、平和不動産による持続可能な社会の実現に向けた活動を支援することを目指します。

KPI	SPT	本件が貢献する SDGs
<p>平和不動産グループが保有する不動産ポートフォリオ(共同所有による持分が物件全体の25%に満たない物件およびたな卸資産は除く)の温室効果ガス排出量(総量ベース、スコープ1、2)</p>	<p>KPIを2018年度比で2030年度までに50%削減すること</p>	 

また本件は、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠性、設定した KPI と SPT の合理性について第三者意見(※2)を取得しています。

当社では、サステナビリティ・リンク・ローンを含むサステナブルファイナンスにおいて、SDGs の目標達成に資するお客さまの事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指してまいります。

以上

(※1) LMA は欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

(※2) 株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/>